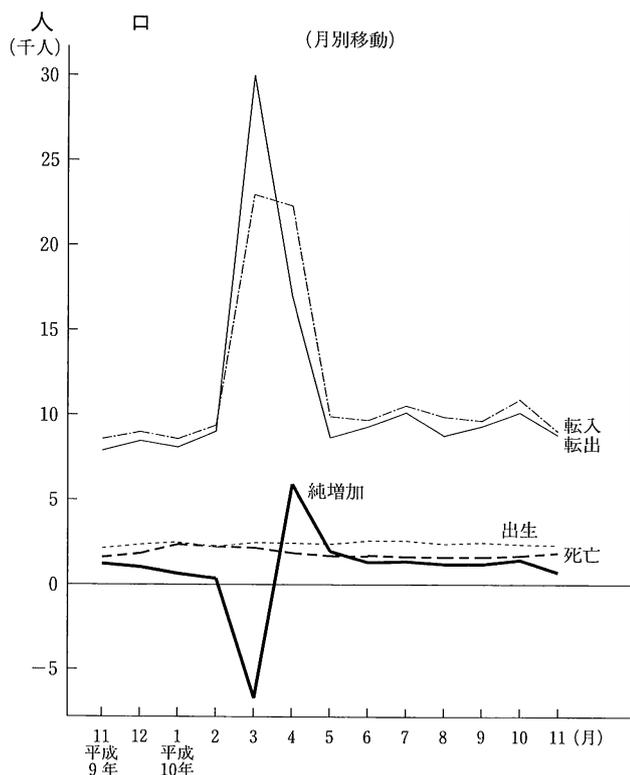
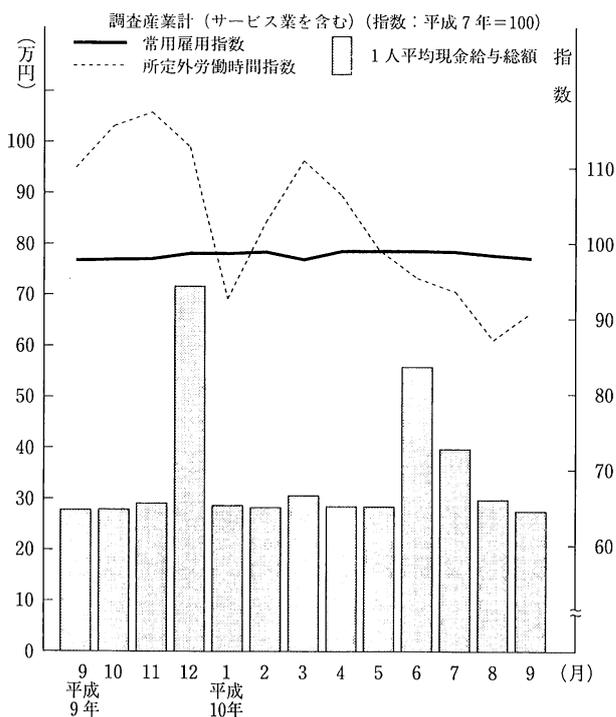


今月の主な動き



賃金・労働時間・雇用



■人口 (10年12月1日)

11月の概況

本県の人口は、11月中に717人増加し、12月1日現在で2,995,492人(男1,495,478人、女1,500,014人)となった。

内訳は、自然動態で、461人(出生2,317人、死亡1,856人)増加し、社会動態で、256人(転入9,070人、転出8,814人)増加した。前年同月と比べると11,169人(0.4%)の増加である。

市町村別では、増加が13市33町村、減少が7市30町村、増減なしが2町である。

世帯数についても11月中に、709世帯増加し974,366世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用 (10年9月)

1. 平均賃金の推移

9月の現金給与総額は、調査産業計で274,445円、対前年同月比1.4%減、このうち、きまって支給する給与は272,797円、対前年同月比1.4%減であった。特別に支払われた給与は、1,648円であった。

2. 労働時間

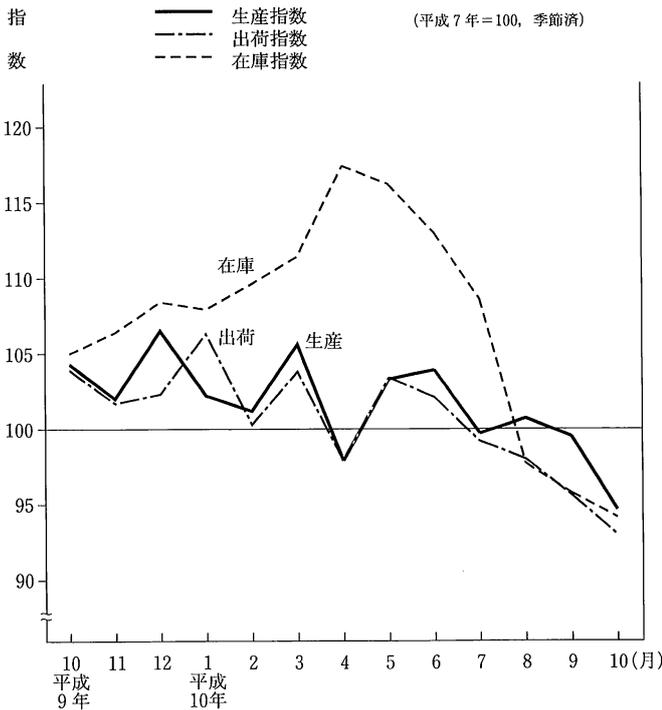
9月の総実労働時間は、調査産業計で153.9時間、対前年同月比3.9%減であった。このうち、所定内労働時間は144.0時間、対前年同月比2.8%減、所定外労働時間は9.9時間、対前年同月比17.5%減であった。

3. 雇用の動き

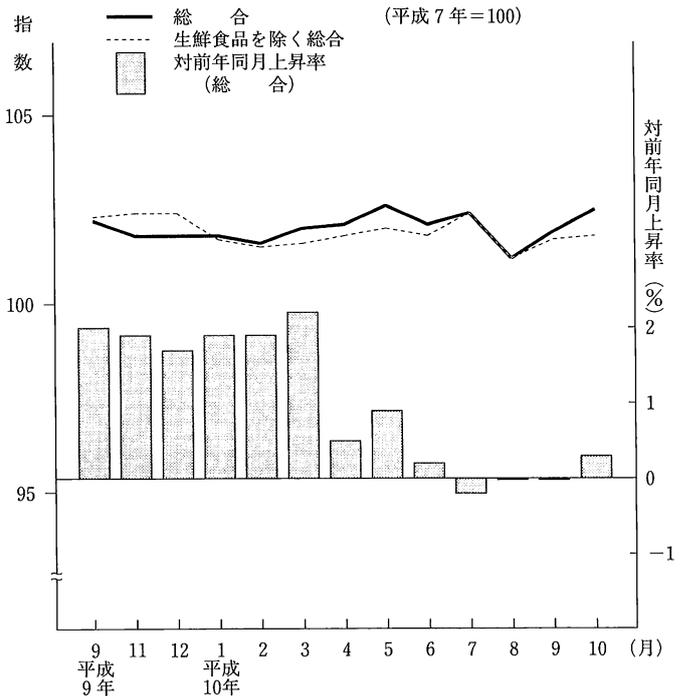
9月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.2%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。
 なお、事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）



消費者物価指数



■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（10年10月）

本県における平成10年10月の“鉱工業指数”（平成7年＝100）は、季節調整済指数で、生産が94.3、出荷が90.9、在庫が93.3で、前月比は、生産が△5.3%の低下、出荷が△5.5%の低下、在庫が△3.3%の低下であった。前年同月比（原指数）は、生産が△9.6%の低下、出荷が△12.5%の低下、在庫が△11.1%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、石油・石炭製品工業、食料品・たばこ工業、化学工業等が上昇し、精密機械工業、一般機械工業、電気機械工業等が低下した。出荷では、鉱業、石油・石炭製品工業、金属製品工業等が上昇し、精密機械工業、一般機械工業、電気機械工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、輸送機械工業、鉱業等が上昇し、電気機械工業、金属製品工業、プラスチック製品工業等が低下した。財別にみると、生産では、その他用生産財、建設財等が上昇し、資本財、耐久消費財等が低下した。出荷では、その他用生産財、耐久消費財が上昇し、資本財、非耐久消費財等が低下した。在庫では、その他用生産財、建設財が上昇し、耐久消費財、非耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数（10年10月）

平成10年10月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で102.5（平成7年＝100）となり、対前月比0.6%の上昇、対前年同月比0.3%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……野菜・海藻12.4%、果物19.8%、衣料2.3%、

今月の下がった主な項目……魚介類3.9%、履物類3.7%、教養娯楽耐久財1.3%

生鮮食品を除く総合は101.8となり、対前月比0.1%の上昇、対前年同月比0.5%の下落であった。

■ 費目別指数

（平成7年＝100）

区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	102.5	0.6	0.3	保健医療	112.0	0.0	△1.1
食料	104.4	2.0	2.7	交通通信	97.7	0.3	△1.1
住居	101.8	△0.2	△0.3	教育	107.4	0.0	1.0
光熱・水道	102.0	△0.4	△2.9	教養娯楽	98.8	0.0	△0.7
家具・家事用品	96.6	0.0	△1.0	諸雑費	100.8	△0.1	0.3
被服及び履物	109.3	1.0	0.1	生鮮食品を除く総合	101.8	0.1	△0.5